

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0570206748		
法人名	株式会社SOYOKAZE		
事業所名	のしろケアセンターそよ風		
所在地	秋田県能代市落合字古悪土1-228		
自己評価作成日	令和5年10月13日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

* 在宅時から、かかりつけ医を継続、利用者一人一人に合った通院介助を行っている。 * 入院の際は不足している物の補充また状態の把握している。 * 外出の機会を多く持ち気分転換を図っている。 * 能代温泉のお湯が引かれたお風呂でゆっくり入浴を楽しんで頂いている。 * 栄養管理のもと食事を楽しんで頂いている。月1回リクエストメニューの日を設け好きな物を注文され食事を楽しまれている。
--

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	令和5年11月3日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

機能の低下が著しい利用者が増えてきていますが、3ユニットの職員間の協力体制も良好で、個々の状態に合わせた声かけや支援を行うことで、利用者本位の生活を送ることができています。コロナ禍でさまざまな制限があったものの、少しずつ以前の活動に戻したいと考えており、希望に応じて買い物に出かけたり、ドライブしたりと段階的に再開しています。管理者は職員の意見の吸い上げに努め、法人本部も職員の意見、提案を前向きに受け止めて、サービスの向上に反映させています。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~46で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
47 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:19,20)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	54 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9,15)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
48 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	55 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,16)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
49 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:19)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	56 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
50 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:30)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	57 職員は、生き活きと働けている (参考項目:10)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
51 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:41)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	58 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
52 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	59 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
53 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員理念づくりを行い、理念の意味を理解し、理念の共有と実践につなげている。	「利用者本位の生活」を実践するために全職員で話し合っケアの目標を決め、日々の業務で意識できるように取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議の開催理解と協力を求めている。新型コロナの感染の予防から、家族会は中止。ボランティア団体の訪問も中止している。	散歩に出かけて近所の庭の花を觀賞したり、自治会長から鉢植えを届けていただいたり、お菓子の移動販売も続いており、以前と変わらずに交流できているものもあります。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	新型コロナの感染予防の為、居室内見学者は中止している。認知症について相談を受け付ける体制になっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には和やかな雰囲気のもと、評価や意見を頂いている。取組の報告を行い、向上に努めている。	行政、自治会長、民生委員からはそれぞれの立場から情報、助言があり、サービスの向上に役立っています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	各書類の作成時には訪問して適切なアドバイスを頂いている。また疑問なことは相談し解決している。	包括他、関係部署と連絡をとり、時には窓口に出向いて協力関係を築いています。	
6	(5)	○身体拘束及び虐待をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び「高齢者虐待防止関連法」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組むとともに、虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束、虐待防止委員会が2ヶ月に1回開催され、職員の勉強会も開催し全職員の理解に繋げている、拘束、虐待のないケアを実践している。委員会、勉強会、を開催し拘束、虐待のないケアを行っている。言葉による虐待もないよう常に職員同士が意識し、防止出来ている。また各ユニットに虐待を行わない事を掲示している。	現在、身体拘束、虐待の事例はありません。職員は研修等を通じて理解を深め、新任職員に対しては業務を通じて理解に繋げています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度の研修に参加して、職員への勉強会も開催し周知している。 玄関に閲覧できるように設置している。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約時は理解のできる説明を行っている。改定等の際は、十分な説明を行い納得のもと同意を得ている。		
9	(6)	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、要望、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、適切に対応するとともに、それらを運営に反映させている	入院時の対応、外出時の対応など、ご利用者、ご家族様の要望を聞いて独自の対応が出来ている。病院でも好評を得ている。	利用者の状態の変化を電話で伝えた際に話を聞き、毎月のお便りに返事をくれる家族もいて、出された要望に対しては都度対応しています。	
10	(7)	○運営や処遇改善に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や職場環境、職員育成等の処遇改善に関して、職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを適切に反映させている	各ユニットのミーティング、グループホームミーティングを開催し、意見を聞いている。意見は運営に反映されている。	一時的な職員の配置変更で円滑な支援に繋がったり、必要な備品の購入にも職員の意見、提案を取り入れ、運営に反映させています。新機能の機器や備品の導入が、利用者及び職員の安心、安全に繋がっています。	
11		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	内部研修を行い、交流や情報交換を行う事でサービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談受付票を作成してサービスを導入する段階で、困っていること、不安なこと要望を十分に傾聴して、納得のいく説明を行い信頼関係を築いている。		
13		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	新型コロナの感染予防から施設見学は中止している。十分説明して困っていること、不安なことなど解決でき安心してサービスを導入して頂くようにしている。		
14		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	得意なことを教えて頂き共に行い、家族だとの思いで接し信頼関係が築けている。		
15		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の情報を共有できるよう、常に家族と情報交換できるようにしている。家族の不安に対しては共に医師の話を聞いて対応するなど、家族と共に支えていく関係を築いている。		
16	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように、支援に努めている	馴染みの場所へドライブに出かけたりして馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援している。	墓参りや手紙のやり取り等、本人が大切にしていることを続けていくことができるように支援しています。訪問理容の方と話しができるのも楽しみなことの一つになっています。	
17		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	居室に籠ることなく利用者同士が交流できるよう配慮している。ホールの座席も会話が弾み楽しく過ごせるように配慮している。利用者同士が関わり合い、支え合えるよう支援している。		
18		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	困ってる事や不安な事がある時はいつでも相談して下さるよう話している。契約終了後、面会に行き様子を観察している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向、心身状態、有する力等の把握に努め、これが困難な場合は、本人本位に検討している	会話などから思いや希望を把握し、家族と相談しながら希望がかなうように努めている。	日常会話の中から本人が希望することや思いを汲み取り、本人本位の生活ができるよう検討しています。	
20		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人に面会し家族からも情報収集して、生活環境が変わっても馴染みのものがあり安心した生活が送れるよう支援している。		
21	(10)	○チームでつくる個別介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した個別介護計画を作成している	本人、家族、主治医、居宅ケアマネから情報を収集して、本人の思い、家族の思いが反映されるよう、介護スタッフでミーティングを開催し介護計画書を作成している。	日々の記録を基に職員間で話し合い、介護計画を作成しています。利用者の思いや家族の意向も反映させています。	
22		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や個別介護計画の見直しに活かしている	家族の面会時には思い、要望を会話の中から把握して記録、情報を共有して介護計画の見直しを行っている。		
23		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難場所になっている中学校に避難訓練を行っている。運営推進会議には利用者の参加は新型コロナの感染の予防から中止している。民生委員、自治会長、家族代表と会話が弾んで助言等も頂いている。		
24	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の希望を大切に在宅時からのかかりつけ医、かかりつけ薬局、かかりつけ歯科医を利用して頂き、適切な医療を受けられるよう支援している。	希望に添って支援しており、通常は職員の介助によって通院しています。歯科受診は訪問診療が可能で、薬局とも良好な関係を築いています。	
25		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状態に異変がある時は直ぐに連絡し、状態を観察して頂き適切な指示を受け対応している。医療連携時は状態を報告、利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	利用者が入院になった場合は、適宜訪問して状態を把握するよう努めている。必要に応じて、医師、担当看護師、家族、介護職員、ケアマネと話し合い情報交換や相談し早期退院できるように体制を整えている。		
27	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合のあり方を本人、家族と話し合い事業所で出来ることを十分に説明して納得して頂き、本人の思い、家族の思いを尊重し、主治医に相談し出来る限り住み慣れた場所で生活できるよう支援している。	ホームでの看取りには対応しておりませんが、可能な限りホームで生活できるよう支援しています。急変時に対応できる職員体制も整えています。	
28		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルも作成し勉強会を開催して全ての職員が対応できるよう、訓練も行っている。		
29	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行い、運営推進会議で報告をして、自治会長、民生委員、ご家族様から適切なアドバイスを頂き次回に活かされている。	ホームの立地環境から管理者及び職員が日頃から危機意識をもって対応しており、指定避難場所の設備も確認しています。利用者の状態の変化に応じてスムーズな避難に繋げるため、訓練の積み重ねを期待します。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	そよ風新聞や写真掲載等は同意を頂いた方のみとしている。プライバシーに関する勉強会も定期的開催し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけにて対応できている。	その人に合ったケアが提供できるよう、勉強会の他にミーティングでも話し合っています。特に入居して日が浅い方には寄り添い、信頼関係を築いて不安や不信感を取り除くことができるよう対応しています。	
31		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望にて理美容も行きつけの所を利用している。洋服等は本人と一緒に買い物に行き好みの洋服を購入して頂き、その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している。		
32	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その人の出来る家事を見つけ食事作り、後片付けを会話しながら共に行っている。月に1回はリクエストメニューの日を設け本人の好きな物を注文して食事を楽しんでいる。	今は外食を中止しており、リクエストメニューで好きなものを注文したり、弁当を頼んだりして外食気分を味わい、楽しく食事できるよう支援しています。	
33		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量、排泄チェック表を活用し一日を通して一人ひとりの状態を把握している。また本人の状態に合わせた食事形態で提供している。		
34		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の機能に合わせた歯磨きや口腔ケアを行っている。また状態に応じ歯科受診も行い、口腔内の清潔保持に努めている。		
35	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンを把握し、定期的なトイレ誘導を行い、トイレで排泄できオムツの使用が少なくなるよう支援している。	チェック表を活用して自立に向けた支援が行われています。一人ひとりの状態に応じて声かけ、誘導し、失禁の減少、排泄用品の使用減に繋げ、トイレに行きたいと言うまでになった利用者もおります。	
36		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便状態を観察し、乳製品や果物を提供して排便を促したり、医師に相談して下剤を使用し個々に応じた便秘予防に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	会話しながら楽しく入浴できるよう配慮している。入浴拒否のある方はタイミングをみて朝に入浴して頂いている。一人ひとりの希望や健康状態に合わせて入浴を楽しめるよう支援している。	週2回を基本に、希望に添って対応しています。温泉を引き込んでおり、一人ひとりゆっくり入浴できるよう支援しています。水虫のある方は入浴日以外にも足浴を行って清潔を保ち、自分で洗う方もおります。	
38		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣に合わせ、ベット、畳、使い慣れた寝具を使用している。また身体状態に合わせて対応して、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。		
39		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期的に服薬の確認を行い副作用、用法、用量について理解している。服用後の状態を主治医に報告して指示を仰いでいる。		
40		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を把握して本人の好きなことやりがいい、(散歩等)につなげるよう支援している。また外食、ドライブ等、外出の機会を多く持ち気分転換などの支援をしている。		
41	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	海の近くなので、外気浴を兼ね散歩に出かけたり、誕生日や希望がある時は外食やドライブへ出かけている。また各種行事を企画し、出来るだけ希望に沿って外出できるよう支援している。	広い空間が確保できる環境にあることから周辺の散歩に出かけ、密になる場所を避けてドライブに出かけたりしながら気分転換を図り、個別の希望に応じて出かけることもあります。3ユニットの職員間でローテーションを調整し、外出の機会をつくっています。	
42		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に出かけた際は立替金を渡し支払いをして頂いている。一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。		
43	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井窓から太陽光が入り明るい雰囲気であり、毎日の掃除、換気を行い清潔保持に努め利用者にとって不快や混乱を招くことがないように配慮している。また季節を感じて頂けるよう、鯉のぼり、お雛様、花を飾り季節感を取り入れ、居心地良く過ごせるように工夫している。	ホールは天井が高く、日中はカーテンで日差しを調整しています。浴室では温泉気分を味わうことができ、渡り廊下で日向ぼっこすることができる造りになっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にベンチを配置したり、テレビの前にソファを設置し利用者同士が自由に楽しく会話して過ごせるように工夫している。		
45	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談しながら、使い慣れた生活用品、家具を持参して頂き環境が変わっても、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。	十分な収納スペースがあり、利用者の状態に合わせてベッド等を配置し、安全に過ごせる環境をつくっています。	
46		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室入口には花の絵や写真を貼ったり、花の名前を付けるなど利用者が分かりやすい工夫をしている。		